

長島町(鹿児島県) 「鹿児島県最北端、長島町の挑戦！」 ～鯛とじゃがいものまちの躍進・離島に架かる橋～」

地域交通×
農林水産業×観光

基本情報

- 人口：9,121人
(令和8年2月末時点)
- 首長：町長 川添 健
- 産業：養殖ブリ生産日本一

活動実績

- 現地訪問：4回
(5/1-5/3、8/7-8/10、10/19-10/22、2/8-2/12)
- オンライン会議：43回
(原則週1回) ※3/25時点

地方創生支援官

- ①平林 孝之 経済産業省 商務・サービスグループ 流通政策課 課長
- ②新保 晴久 会計検査院 第2局防衛検査第1課 副長
- ③高林 恭大 法務省 大臣官房人事課 係長

町の主要課題

○獅子島架橋

有人離島の獅子島について、架橋は50数年来の全町民の悲願である。ポテンシャルを有した一次産業の所得向上や夜間医療体制の確保などが望まれているものの、島内インフラの現状や架橋事業の採算性などが課題となっており、国や県との調整を継続的に実施中。

○観光・産業の活性化について

外資系ホテルの進出(予定)を前提に「サンセットの丘」周辺の観光施設の整備や、「獅子島産業倍増プロジェクト」など農業・漁業の振興を促進するため、具体的な計画や財源確保に取り組んでいるところ。

○若年層の確保について

町内に高校がないため、高校等進学とともに町を離れざるを得ない構造的な現状があり、働き手の確保が課題。慶応大と連携したブリ奨学プログラムを軸にUターン者を主な対象とした地元の仕事の創出に向けて、地元事業者、教育・金融機関等との更なる連携に取り組中。



養殖鯛の水揚げ量日本一！



左から③高林、副町長、町長、①平林、②新保

支援の流れ

○現地訪問・関係者へのヒアリング(4月～)

長島町、鹿児島県庁、東町漁協、地元生産者、獅子島を訪問してヒアリングを実施。現場の生声を収集することで町内の現状に直に触れ、課題を明確化。また、道の駅など特産品を知ることで一次産業の出口を確認。

○課題対応策の提案・検討(5月～)

毎週の会議による伴走支援を通して、各課題への対応策を協働で検討。また、町と霞ヶ関との調整の仲介に入ること、課題を明瞭にし、再度整理し直すことで検討の効率化につなげてきた。一方、限られた予算の中、民間企業との連携が有効であることから、地域創生、EC市場、食イベント、教育DX、地域交通などの観点から鹿児島県内の大学や事業者との連携を模索中。

○広報活動の促進(8月～)

経営者ネットワークや発信力のある複数の中小企業経営者を現地に招聘し、町や特産品の魅力を紹介し、同町のファンになってもらうことで、SNSや口コミ等のリアル情報による長島町の認知度向上を促進中。

成果・展望

○これまで民間事業者の招聘など複数事業を進めてきたが、主な成果は以下の通り。

1. 獅子島架橋に係る連絡ネットワーク等の形成

獅子島架橋において、これまでも町として国や県に対して陳情を行うなど精力的に活動していたものの、国等における架橋の機運醸成には至っていなかった。支援官が国交省とのミーティングを調整し、町と同省が直接ミーティングを行える環境を整備するなど、連絡ネットワークの形成に寄与した。また、県に対しては、町の要望活動に随行し、架橋に係る共通認識の形成を促したことによって、「獅子島架橋構想に係る長島町・鹿児島県連絡会」が設置されることとなり、実務者レベルの継続的な協議を進める環境が整えられた。



鹿児島県への要望活動

2. 鹿児島大学との連携

町内に高校がないため、高校等進学とともに町を離れざるを得ない構造的な現状があり、働き手の確保が課題となっているところ、鹿児島大学法文学部自治体政策論ゼミと連携し、若者の視点から解決策を検討するワークショップを実施した。同大学とは来年度も引き続き連携を深めていく予定であり、長島町の交流人口拡大の観点から、具体的には、鹿大生の実地研修等を町内にある同大学施設で行うことについて協議を進めている。



鹿児島大学でのワークショップの様子

3. 養殖藻場事業の支援

町の産業活性化を進めるため、海藻養殖事業の拡大に向け、町と養殖藻場事業者との意見交換に参加し、海藻実証実験に係る補助金の利用等について助言を行うなど、海藻実証実験の実現に寄与した。

知名町(鹿児島県)「うがみやぶらー！沖永良部島『知名町』の豊かな未来に向けたシマスキな人々との協創～コミュニティ×教育×環境～」

まちづくり×環境
×教育

基本情報

- 人口：5,259人
(令和8年3月時点)
- 市町村長：今井 力夫

活動実績

- 現地訪問：4回
(6/19-21、10/16-18、12/3、2/2-3)
- オンライン会議：12回(4/16、5/15、5/27、6/9、7/25、8/27、9/30、10/15、11/5、12/23、1/27、3/24)

知名町

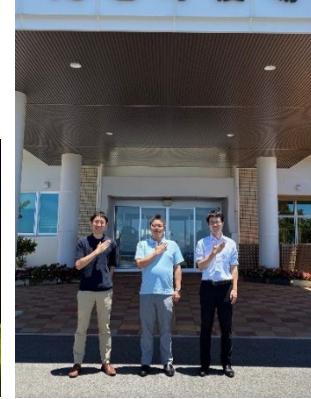


ちなポー



しまらつきよくん

知名町役場



左から①石川、②新垣、③山口

地方創生支援官

- ①石川 拓哉 所属 環境省 自然環境局
- ②新垣 和紀 所属 内閣府 男女共同参画局
- ③山口 真和 所属 文化庁 参事官(生活文化創造担当)付



町の課題

- 人口減少の解消
子育てしやいまちづくりや島の観光と農業を連携しながら島内の経済循環をつくり島にくる人を増やしたい。
- 人と環境の調和
環境省の脱炭素先行地域に選定されているが、農作物から廃棄される資源などをリサイクルすることや、EVや自動運転技術の活用についての検討。
- 教育を通じた地域活性化
指導者の確保など部活動の存続が厳しい中で、部活動の地域展開の進め方や、令和9年度から本格的にスタートする地域みらい留学の実施に関する検討。

支援の流れ

- 伴走支援を行うテーマ等の確認(4月～)
オンライン会議や現地訪問(6月)を行いながら町役場の方や関係者にヒアリングを行い課題となっているテーマや現状を聴取し、伴走支援の内容を明確化。
- 課題の整理と今後の解決策についての検討(8月～)
聴取した課題に対して、関係省庁等にも必要に応じて相談しながら、国の支援策や他地域で先行的に進められている事例の紹介や解決策の提案。
- 更なる活動の展開(9月～)
現地訪問などを活用して支援官が直接現場で活動を行うなど効果的な発信や取組の具体化を後押し。

成果・展望

○成果

- 知名町・支援官の**良好な信頼関係**の構築(本制度の円滑な実施に資する基盤の構築)
- 知名町から提示された課題(人口、経済、環境)について、それぞれ町長や担当者をはじめ**多様な関係者と意見交換**を行いつつ、個別施策の方向性に対する支援(助言など)を実施。その上で町として取り組む**施策の優先順位付け・実施体制**などを整理。
- 支援官の知見を生かした助言(制度・補助金などの紹介)、**島の未来を担う若者との交流**、**今帰仁村(姉妹都市)との交流**などにも注力。
- 一部課題については**国の専門家派遣制度の採択**を受け具体的な検討に着手。



今井町長と支援官との打合せ

○展望

- 第6次知名町**総合振興計画の実行フェーズ**に向けた重要な局面であるR8年度は、R7年度の成果を踏まえ、引き続き多様な関係者の意見を踏まえ合意形成を図りながら各施策の**具体的な実施計画の策定**、それらに基づく施策の着手を進めていく。
- それ以外の分野も含め、町のニーズを踏まえ**支援官の強みを生かした柔軟な支援**を継続。**町の主体性により施策を持続的に推進できる体制整備**(R9年度以降も見据えて)にも注力。



町担当者と支援官との打合せ

その他経験・知見を活かした支援取組例、国の業務等へのフィードバック等

○島の未来を担う若者との交流

- 中高生(**知名中学校**、**沖永良部高校**)との交流
 - ✓ 中学生に向けたキャリア講話(支援官の経歴・業務紹介)
 - ✓ 高校生との島の課題等に関する意見交換
- 若者団体(**一般社団法人シマスキ**)との意見交換

○個別課題への

- 環境省脱炭素まちづくり**アドバイザー派遣**採択
- 旧庁舎跡地活用(**島の駅構想**)に係る助言 など



高校生との意見交換



中学生に向けたキャリア講話



若者団体との交流

知名町(鹿児島県)「うがみやぶらー! 沖永良部島『知名町』の豊かな未来に向けたシマスキな人々との協創～コミュニティ×教育×環境～」

まちづくり×環境
×教育

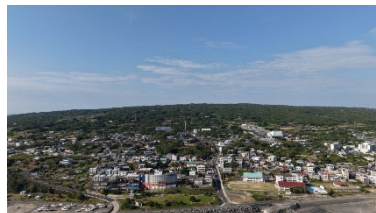
町制施行80周年

- 令和8年9月1日は、知名町が町制を施行してから**80年の記念日!**
- 町制施行80周年を祝い、町の**魅力を再発見**し、先人の努力を振り返り、町の**歴史と文化を次世代へ継承**することを目的に**各種記念事業**を推進。

テーマ及びスローガン

テーマ: 子や孫が誇れるまちづくり

スローガン: 紡ぎ築いたこの町に 明日の風光る



主要プロジェクト

○記念式典及び祝賀会 令和8年11月14日(土)開催!!

80年の歴史を祝い、**未来への決意**を内外に示す核となる行事として開催。児童生徒による合唱、未来へのメッセージ発表、記念動画の上映や、町の歴史に関するパネル展等を予定。



○未来につなぐちなの種

「子や孫が誇れるまちづくり」を具体化する**町民提案型プロジェクト**として、80周年を契機に**新たな取り組みをスタート**させる。

- ・**イベント助成**: 子育て支援や世代間交流イベント等、子や孫が誇れるまちづくりを実現するために町民等が主体となって実施する事業を支援
- ・**町の活性化**: 既存のイベント(ふるさと夏祭り、生涯学習フェスティバル等)との連携強化
- ・**魅力発信**: 来場者とのアート製作、SNS発信、記念動画制作

